

美浜発電所3号機における国際原子力機関（IAEA）の
SALTOチームによる調査開始

2024年4月16日
関西電力株式会社

本日、美浜発電所3号機の安全な長期運転に対して客観的に国際的な評価を受けるべく、IAEA^{※1}のSALTO^{※2}チームによる調査が開始されましたのでお知らせいたします。本調査は4月25日まで行われる予定です。

当社は、今回の調査で得られた知見を、今後のプラント設計や設備保全に反映していくことで、原子力発電所の安全性・信頼性の向上に取り組んでまいります。

※1：IAEA（International Atomic Energy Agencyの略）

1957年に国連加盟国により、世界的な“平和目的の原子力”組織として設立された。当機関の役割は、加盟国および世界各国が協力して、核技術の安全、保障および平和利用の促進を図ることである。

※2：SALTO（Safety Aspects of Long Term Operationの略）

IAEAが行う安全な長期運転のための支援プログラムであり、長期運転に対して、各発電所の経年劣化管理等の活動がIAEAの最新の安全基準を満足しているかどうか評価し、事業者に更なる改善に向けた推奨事項、提案事項を提供することで、安全な長期運転に役立てることを目的としている。

以上

添付資料：SALTOチームによる調査概要

SALTOチームによる調査概要

1. 調査期間

2024年4月16日（火）～25日（木） 10日間

2. 調査対象

- ①組織・体制
 - ②設備全体の管理プログラム
 - ③機械設備の経年劣化管理状況
 - ④電気・計装設備の経年劣化管理状況
 - ⑤コンクリート構造物の経年劣化管理状況
 - ⑥人的資源・力量・知識管理
- 計6分野

3. メンバー構成

IAEAの職員およびIAEA加盟国の専門家 計11名（8ヶ国※）

リーダー IAEA 原子力安全担当官 マルティン・マルチェナ氏

副リーダー IAEA 原子力安全担当官 ブライス・リーマン氏

※アメリカ、アルゼンチン、イギリス、スウェーデン、チェコ、フィンランド、フランス、韓国

4. 調査方法

美浜発電所3号機の長期運転に対し、設備等の経年劣化管理等の活動がIAEAの最新の安全基準を満足しているかどうか調査を受けるもの。具体的には、調査対象の6分野について、社内ルールを定めた文書等の確認や意見交換に加え、発電所構内の設備等を調査いただく。

以上